

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-183646
(43)Date of publication of application : 18.07.1990

(51)Int. Cl. H04L 12/54
H04L 12/58

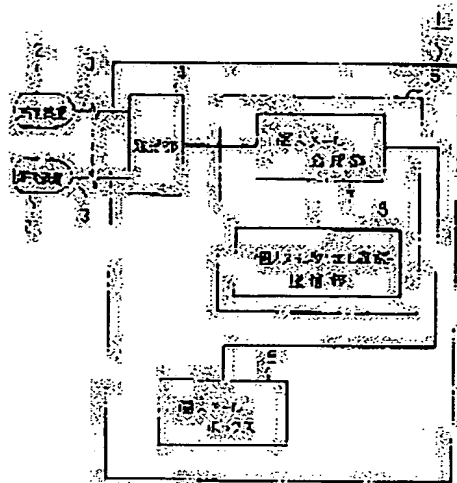
(21)Application number : 01-002508 (71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP
(22)Date of filing : 09.01.1989 (72)Inventor : KUSUNOKI KAZUHIRO

(54) ELECTRONIC MAIL SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To confirm the extraction of an individual electronic mail from an individual mail box independently of an individual address electronic mail representing the confirmation by the recipient itself by informing automatically the extraction confirmation of the individual electronic mail from the individual mail box to a sender.

CONSTITUTION: When the extraction of the individual electronic mail is required to be confirmed, an individual mail processing section 7 requests the transmission of the individual electronic mail for extraction confirmation to a sender to an individual mail extraction confirmation transmission section 8. The individual mail extraction confirmation transmission section 8 sends the sender the extraction confirmation individual electronic mail upon the request. The sent extraction confirmation individual electronic mail is processed by an individual mail processing section 7 and stored in an individual mail box 5. Thus, the sender of the individual electronic mail can confirm the extraction of the individual electronic mail from the individual mail box 5 by the recipient of the individual electronic mail without transmission of the individual electronic mail for extraction confirmation to the sender.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-183646

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)7月18日

H 04 L 12/54
12/58

7830-5K H 04 L 11/20 1 0 1 B
審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 電子メールシステム

⑯ 特 願 平1-2508

⑰ 出 願 平1(1989)1月9日

⑱ 発 明 者 楠 和 浩 神奈川県鎌倉市大船5丁目1番1号 三菱電機株式会社情報電子研究所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

電子メールシステム

2. 特許請求の範囲

複数の端末装置と通信回線を介して接続され、上記端末装置から送出される電子メールを処理する処理部と、該処理部にて処理された個人宛の電子メールを格納する個人メールボックスとを備える電子メールシステムにおいて、上記処理部にて処理された個人宛の電子メールを管理する個人メール管理部を備え、個人宛電子メールの送信元の要求に応じて、該個人宛電子メール受信者が個人メールボックスから該個人宛電子メールを取り出したことを、上記個人メール管理部が該個人宛電子メールの送信元に通知することを特徴とする電子メールシステム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認を該個人宛電子メール

の送信元の要求に応じて自動的に行うことができる電子メールシステムに関するものである。

(従来技術)

従来、この種のシステムとしては例えば斎藤忠夫、電子メールとグループ通信(情報処理学会情報処理 vol18, No. 8, pp1015)に示されたようなものがあった。

第2図は、このような従来の電子メールシステムの構成図であり、同図において(1)は電子メールの処理を行う電子メール装置、(2)は電子メールサービスを使用するための端末装置、(3)は電子メール装置(1)と端末装置(2)を結ぶ通信回線である。

第3図は、従来の電子メール装置の内部の論理回路を示す構成図であり、(4)は電子メール装置(1)に接続された端末装置(2)と電子メール及びコマンドの送受信と処理を行う処理部、(5)は個人宛の電子メールを格納する個人メールボックスである。

次に動作について説明する。

処理部(4)は電子メール装置(1)に接続された端末

装置(2)から送信される個人宛電子メールを、該当する個人メールボックス(5)に格納するための処理を行う。

個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出しは、受信者が電子メール装置(1)に接続された端末装置(2)から処理部(4)に対して個人メールボックスからの個人宛電子メールからの取り出しを要求するコマンドを送信する。処理部(4)は個人メールボックスから個人宛電子メールを取り出し、該個人宛電子メールを受信者の端末装置(2)へ送信する。

個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認は、個人宛電子メール受信者が、個人メールボックスから個人宛電子メールを取り出した後、該当個人宛電子メールの送信元に対して確認の個人宛電子メールを送信することによって行われる。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来の電子メールシステムは以上のように構成されているので、個人宛に送出された電子メール

この発明においては、個人メール管理部が、個人宛電子メール受信者の個人メールボックスからの該個人宛電子メールの取り出し確認を該個人宛電子メールの送信元の要求に応じて該個人宛電子メールの送信元に通知するから、受信者が取り出し確認の個人宛電子メールを送信元に送信しなくても個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認を行うことができる。

〔発明の実施例〕

以下、この発明の一実施例を第1図に基づいて説明する。第1図に本実施例に係る電子メールシステムの構成ブロック図を示し、同図において本実施例に係る電子メールシステムは、複数の端末装置(2)に通信回線(3)を介して接続され、上記端末装置(2)から送信される電子メールを処理する処理部(4)と、該処理部(4)にて処理された個人宛電子メールを管理し、個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認を通知する個人メール管理部(6)、個人宛の電子メールを格納する個人メールボックス(5)とを備えて構成される。

を受信者が個人メールボックスから取り出しても受信者が確認を示す個人宛電子メールを送信元に対して送信しなければ、送信元には受信者が個人宛電子メールを個人メールボックスから取り出したことが分からない、という問題点があった。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、個人宛電子メールの送信元の要求に応じて自動的に、該個人宛電子メールの受信者による該個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認を該個人宛電子メールの送信元に送信することができる電子メールシステムを得ることを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明に係る電子メールシステムは、個人宛電子メールを管理し、個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認を、該個人宛電子メールの送信元の要求に応じて該個人宛電子メールの送信元に通知する個人メール管理部を有する構成である。

〔作用〕

また、個人メール管理部(6)は、個人メール処理部(7)と、個人メール取り出し確認送信部(8)とを備えて構成される。

次に上記構成に基づく本実施例システムの動作について説明する。個人メール処理部(7)は、送信元が送信し、処理部(4)で処理された個人宛電子メールについて、該個人宛電子メールの送信元から取り出し確認の要求があれば、該個人宛電子メールにそれを示す情報を付加して個人メールボックス(5)に該個人宛電子メールを格納する。個人宛電子メールの受信者が個人メールボックス(5)から個人宛電子メールの取り出しを行った際には個人メール処理部(7)で、取り出した個人宛電子メールが、取り出し確認の必要な個人宛電子メールかどうかを判断する。該個人宛電子メールが、取り出し確認の必要な個人宛電子メールである場合には、個人メール処理部(7)は、個人メール取り出し確認送信部(8)に対して、該個人宛電子メールの送信元に対して取り出し確認の個人宛電子メールを送信するよう要求する。個人メール取り出し

確認送信部(8)は、上記の要求に従い送信元に対して取り出し確認の個人宛電子メールを送信する。送信された取り出し確認の個人宛電子メールは、個人メール処理部(7)において処理され、個人メールボックス(5)に格納される。

従って、個人宛電子メールの送信元は、該個人宛電子メールの受信者が個人メールボックス(5)から該個人宛電子メールを取り出したことを、受信者が取り出し確認の個人宛電子メールを送信元に送信しなくても知ることができるものである。

なお、上記実施例では、個人メール管理部(6)を処理部(4)の後に設けるようにしたが、端末装置(2)と電子メール装置(1)の中間に設けるようにしても上記実施例と同様の効果がある。

〔発明の効果〕

以上のように、この発明によれば、個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認を自動的に送信元に通知できる構成したので、個人宛電子メールの個人メールボックスからの取り出し確認が受信者空の確認を示す個人宛電子メー

ルによらず行うことができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

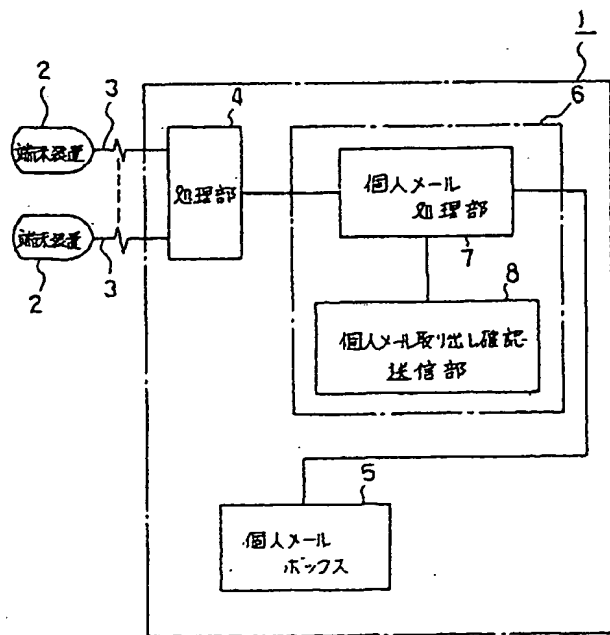
第1図はこの発明の一実施例に係る電子メールシステムの構成ブロック図、第2図は電子メールシステムの全体概略構成図、第3図は従来の電子メールシステムの構成ブロック図を示す。

図に於いて、(1)は電子メール装置、(2)は端末装置、(3)は通信回線、(4)は処理部、(5)は個人メールボックス、(6)は個人メール管理部、(7)は個人メール処理部、(8)は個人メール取り出し確認送信部である。

なお、各図中同一符号は同一または相当部分を示す。

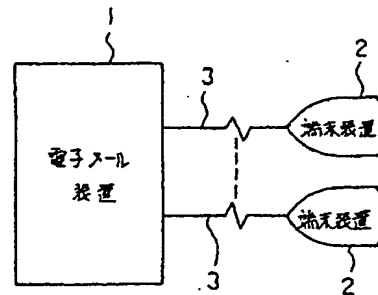
代理人 大 岩 増 雄

第 1 図



1: 電子メール装置

第 2 図



第 3 図

